



高原中学校卒業生のみなさん

町
議
会



高
原
町

だより

たちばな

「高原町の町木」



87号

令和6年 3月定例会(第1回)

【目次】

議会のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2～P 6
 現地調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
 委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
 一般質問・議会の動き・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9～P 13
 議会報告会開催のお知らせ・編集後記・・・・・・・・ P 14

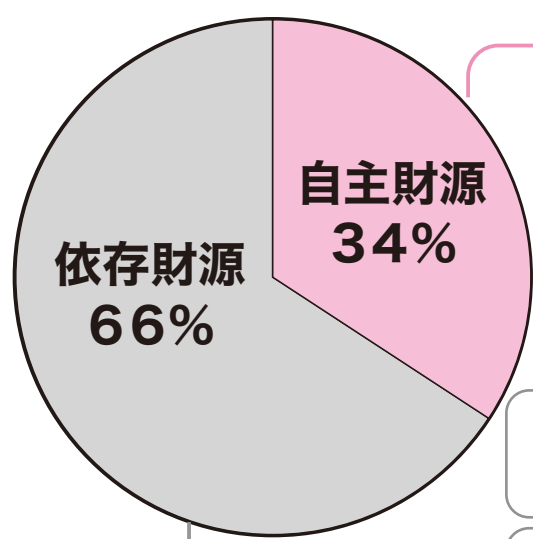


令和6年度予算を可決! 63億7,300万円

対前年比
3億6,300万円
(6.0%増)

歳入

21億8,430万1千円



町税 8億733万8千円 12.7%	繰入金 5億7,010万7千円 8.9%
--------------------------	----------------------------

その他(分担金・負担金、諸収入、寄付金等) 8億685万6千円 12.6%

41億8,869万9千円

地方交付税 24億3,800万円 38.3%

国県支出金 11億2,279万8千円 17.6%

町債 3億2,970万円 5.2%

その他(法人事業税交付金、地方消費税交付金等) 2億9,820万1千円 4.7%
--

※【町債】令和6年度未残高見込額 48億4,035万7千円

令和6年度新規事業【39事業1億8,700万8千円】

主な事業

- ☆利用者支援事業(子ども家庭センター型).....1,927万2千円
※子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を維持した上で、すべての妊産婦、子育て世代、子どもなどへ相談支援を行う“子ども家庭センター”を設置し、支援体制の強化を図るもの
- ☆小学校教師用教科書・指導書等購入事業.....1,361万9千円
- ☆農業水路等長寿命化・防災減災事業.....1,200万円
※後川内川除地区：止水ゲート設置等
- ☆登山道維持管理業務委託事業.....323万6千円
- ☆たかはる移住定住促進事業.....300万円
- ☆未来へつながる地域づくり協創事業.....280万円

令和6年度主な事業（※新規事業を除く）

① 健康づくりと地域医療の充実

- ☆ 病院整備事業 1億467万円
- ☆ 健康増進事業（健康教育・健康診査・訪問指導）1,530万3千円
- ☆ 予防接種事業 3,186万3千円



▲ほほえみカレンダー

② 教育環境の整備

- ☆ 小中学校用務員業務委託事業 823万8千円
- ☆ 教育支援事業 1,126万7千円
※児童生徒及び保護者への教育相談、不登校児童生徒支援（適応指導教室の運営）など
- ☆ 小中学校給食運営事業（給食費補助など）8,498万6千円
- ☆ 小中学校町費職員配置事業 6,202万4千円
※複式学級での学年別授業を行う「学習指導充実推進教員」、日常生活動作の介助や学習活動上のサポートを行う「特別支援教育支援員」配置
- ☆ 小中学校ICT整備事業 4,187万5千円



▲ICT教育（電子黒板）



▲高原町防災倉庫

③ 災害に強いまちづくり

- ☆ 消火栓設置負担金（2基分）160万円
- ☆ 防災備蓄用品更新 65万円
- ☆ 木造住宅耐震（診断・改修）促進事業 126万円

④ 農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

- ☆ 地域商社活動・開発推進事業 6,840万2千円
- ☆ 中山間地域等直接支払交付金事業 4,807万3千円
- ☆ 農地中間管理事業 654万4千円
- ☆ しいたけ等特用林産物生産基盤強化事業 759万8千円
- ☆ 森林経営管理制度事業 678万5千円



▲奥霧島地域商社
ツナガルたかはる株式会社

⑤ 観光の振興

- ☆ 松林保全対策事業 135万円
- ☆ 高原町観光協会運営支援事業 876万8千円
- ☆ 高原町観光滞在・町内消費増大事業 420万円
- ☆ 皇子原公園・御池キャンプ村（施設修繕・管理運営委託・改修工事）3,439万8千円



▲高原町観光協会

⑥ 子育て支援・少子化対策

- ☆ 支援対象児童等見守り強化事業 986万6千円
- ☆ 放課後児童健全育成事業 4,004万2千円
- ☆ 病児保育事業 889万2千円
- ☆ 子育てのための施設等利用給付事業 1,149万6千円
- ☆ 乳幼児医療費助成事業 1,049万1千円
- ☆ 出産・子育て応援交付金事業 1,164万3千円



▲子育て支援センターを利用されている親子



町制施行90周年記念に関わる事業

- ☆記念式典・記念講演・町勢要覧作成・・・・・・・・・・・・・・・・755万7千円
- ☆たかはるブランディング事業（日本発祥地まつり等）・・・・・・・・569万2千円
- ☆稼ぐ観光地域づくり推進支援事業（囲碁名人戦招致等）・・・・・・・・300万円
- ☆着ぐるみ製作事業（たかぼー・はるちゃん）・・・・・・・・269万2千円
- ☆必ず気になる高原プロモーション事業（動画作成等）・・・・・・・・200万2千円
- ☆神武の里たかはる町制施行90周年記念行事・・・・・・・・150万円
- ☆畜産振興大会・畜産物消費拡大事業・・・・・・・・121万5千円
- ☆みこし山車製作事業・・・・・・・・100万円
- ☆高原町登山・自然散策等利用促進支援事業・・・・・・・・100万円
- ☆物産プロモーション事業（特産品開発・贈呈等）・・・・・・・・85万8千円
- ☆eスポーツ交流会（高齢者介護予防・健康づくり事業）・・・・・・・・38万5千円
- ☆高原町SWC健幸グラウンドゴルフ大会・・・・・・・・13万4千円

令和5年度一般会計補正予算（第13号）

補正額：8,192万6千円

ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・3,000万円

※ふるさと納税額の増額が見込まれるため事務経費等によるもの

低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業・・・・・・・・4,892万6千円

※一世帯当たり10万円給付（対象世帯338世帯）、子供一人当たり5万円 加算（対象人数236人）

令和5年度一般会計補正予算（第14号）

補正額：4億9,847万円

令和5年度予算総額 78億9,561万3千円

養護措置委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・3,202万4千円

※峰寿園は、本年度をもって指定管理から本町直営となることから清算に伴うもの

病院整備費（不採算地区病院運営経費及び公立病院経営強化プラン）・1億3,082万7千円

合板・製材・集成材国際競争力強化・TPP等対策事業・・・・・・・・2,055万4千円

公共土木施設災害復旧費（現年災害）・・・・・・・・3億6,811万4千円

令和6年度 第1回定例会議案

報告第1号 令和6年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社第4期事業計画

令和5年度“ふるさと納税寄付額
5億5,400万円（令和6年1月現在）
 第3期における決算見込み額
1,203万1,104円（純利益）



▲ふるさと納税サイト（ふるなび）

同意第1号 教育委員会の教育長の任命

再任 西田 次良 氏（令和6年4月1日から令和9年3月31日まで）

諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦

再任 大山 英子 氏（令和6年7月1日から令和9年6月30日まで）

議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の給与表改定、期末手当及び勤勉手当をそれぞれ引き上げるもの

議案第2号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

町長、副町長、教育長の期末手当を6月期と12月期をそれぞれ0.05月ずつ引き上げるもの

議案第3号 議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

議員の期末手当を6月期と12月期をそれぞれ0.05月ずつ引き上げるもの

議案第13号 職員定数条例の一部を改正する条例

令和6年4月1日から病院事業の経営改革と峰寿園の管理運営体制の変更により、下記の通り（変更された職員定数のみ掲載）職員定数の改正を行うもの



▲高原町養護老人ホーム「峰寿園」

改正前		改正後	
町長部局の職員	100人	町長部局の職員	135人
病院事業	60人	病院事業	50人

※病院から10人、峰寿園に25人を新たに配置することにより+35人となるもの
 ※高原町立病院の病床数は56床であるが、令和6年4月1日からは16床を休床し、40床で運営することにより定数を削減するもの

議案第14号 職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

廃止となる特殊勤務手当は、保健師事務、理学療法士事務、国民健康保険高原病院看護事務

議案第21号 高原町犯罪被害者等支援条例

趣旨 犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関し、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する

【主な施策】 ①相談及び情報提供 ②支援金の支給 ③理解増進

議案第23号、24号、25号、26号、27号、28号 指定管理者の指定について

集会施設、農村広場施設、研修集会施設、多目的活性化広場施設、簡易給水施設、営農飲雑用水施設上記の施設の指定期間が令和6年3月31日をもって協定期間満了となるため、令和6年4月1日から令和11年3月31日まで引き続き管理いただくもの



▲常盤台活性化センター



▲出口農業構造改善センター

議案第38号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【改正内容】 55歳（規則で定める職員にあっては、56歳以上の年齢で規則で定めるもの）を超える職員昇給に関して抑制を行う。もの

採決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和6年第1回定例会 議決結果(内容)

議案番号	件名	議決結果	①西嶋陽代	②岩元礼子	③福澤卓志	④温水宜昭	⑤末永充	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧山下香織	⑨陣圭介	⑩前原淳一
同第1号	教育委員会の教育長の任命について	同意	○	●	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第2号	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第3号	議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第23号	指定管理者の指定について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	令和6年度高原町一般会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	令和6年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

46事業費合計 4億8,622万4,409円



▲高原小学校体育館LED化事業 1,170万円
※アリーナ15基、2階球技室9基



▲総合運動公園サッカー広場改良工事 430万円
※湾曲した芝境を改良し、広場を拡張するもの



▲街路整備二葉・村移(3事業合計) 4,500万円
※施工延長 L=80.0m他



▲町道改良事業霧島団地高校線 2,460万円
※施工延長 L=114.0m



▲皇子原公園レストハウス改修工事 1,200万円
※屋根及び室内改修工事



▲皇子原公園コテージC棟改修工事 120万円
※テラス改修工事



▲農業水路等長寿命化・防災減災事業 1,200万円
※後川内川除地区:止水ゲート設置等



▲県営畑地帯総合整備事業 1,896万円
※後川内1期地区:区画整理・実施設計

文教厚生常任委員会行政調査報告書

日時 令和5年11月7日～8日

場所 岡山県奈義町、広島県神石高原町

岡山県奈義町

【調査内容】

1. 少子化対策（子育て支援）について

- (1) 取り組んだ経緯
- (2) 施策内容（予算、事業効果を含む）
- (3) 今後の展望と課題



2. 奈義しごとえん

- (1) 予算、事業効果
- (2) 今後の展望と課題

【考察】

奈義町では本町と同様に人口減少問題、少子高齢化問題及び若者の流出問題を抱えており、その問題を防ぐため、子育て世代への支援、魅力ある教育、若者流出の抑止策の整備、就労の場の確保等、積極的な対策を全町をあげて取り組んでいる。本町においても、安心して子育てができるよう切れ目ない子育て支援の更なる強化、移住定住施策のみならず若者流出の抑止として、若者向けの住環境及び働く環境の整備、「少子化対策は最大の高齢者福祉である」という考えにあるような、子供や子育て世代が高齢者と共に日々を過ごす町づくりが必要であると感じた。



▲奈義しごとえん（岡山県）

広島県神石高原町

【調査内容】

1. 学校統廃合の経緯と施設の跡地利用について

- (1) 統廃合の経緯とその規模
- (2) 地域住民・保護者への説明やその反応
- (3) 廃校後の跡地利用、地域振興および財源

2. 動物愛護に係る行政支援、

NPO法人との連携について

- (1) 犬猫の不妊手術の助成における実績・財源・効果
- (2) 児童・学生や住民との交流の有無
- (3) ふるさと納税の活用など



【考察】

神石高原町では本町との規模の違いはあるが、統廃合後の跡地利用問題について苦慮されていた。その経験から、思い入れのある所は残し、そうでない所は解体すべきとの意見であった。新校舎については将来を見据え計画すべきとの意見であった。動物愛護に係る行政支援とNPO法人との連携については、行政が抱えすぎた仕事を行政支援のもと、民間にしようという考えであった。財源はふるさと納税を利用したものである。本町でも飼い主の高齢化等により野良猫の増加が懸念されることから、今後動物に関する苦情、トラブル発生等を未然に防ぐため、行政と民間との連携の強化が必要と感じた。



▲神石高原町（広島県）

防災拠点としての庁舎建設について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

●公共施設整備

問 防災庁舎としての庁舎建設が必要と考えるが。

答 公共施設等の整備方針の見直しを図り、公のたてもの等整備検討委員会や町民の意見を拝聴し、方針の決定を行う。

問 能登半島地震では、木造住宅の倒壊が相次いだ。本町では、どのような対策を行っているか。

答 木造住宅耐震診断促進事業や木造住宅の耐震改修工事の補助を実施し、積極的に対応する。

●循環型社会の形成

問 粗大ごみ焼却施設の解体時期と浸出水処理施設の状況は。

答 粗大ごみ保管施設として利用しているため、代替施設を準備してから実施する。

問 上麓、下麓地区には、公民館施設がない。リサイクル集積時の降雨時には、雨に打たれながら作業を行っている。町民に寄り添った行政運営ができないのか。

答 補助事業等、財源確保を模索し検討する。



▲上麓地区のリサイクル処理状況

●国土利用・管理

問 人口減少・少子高齢化の中で適切な管理を推進していかねばいけない。土地の現状把握と将来予測をもとに、土地の管理の在り方を示す「市町村管理構想」や「地域管理構想」の策定を今後どのようにするのか。

答 本町では、管理構想を策定していない。今後、検討していく。

防災対策について



こおりやま さたとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●防災行政

問 庁舎内の防災訓練の実施状況は。

答 緊急地震速報の放送に合わせ、地震発生を想定した安全確保行動を職員が執務内で行っており、その他火災訓練等も行っている。

問 学校での防災訓練の実施状況は。

答 風水害避難訓練、地震避難訓練、火災避難訓練、噴火避難訓練のうち、噴火避難訓練を含む3つの訓練を毎年行っている。

問 町内の耐震化の状況は。

答 平成26年度末で、77%の住宅が耐震性を満たしているが、23%の住宅が耐震性を満たしていない状況である。高原町住宅耐震化緊急促進プログラムを策定しており、個別にダイレクトメールを送り耐震化促進を今後も徹底していく。

●町立病院

問 新年度へ向けた職員体制は。

答 看護師、理学療法士、臨床検査技師の異動等により9人削減し、37人体制となる。また、会計年度職員も4人削減し、30人となる。

問 一般病床を削減し、地域包括ケア病床を増床することにより見込める効果は。

答 年間約1億円の増収となる見込みである。

問 地域包括ケア病床における現10床の稼働状況と、26床とした場合の稼働の見込みは。

答 現10床での稼働率はほぼ100%に近く、26床とした場合の目標として88%程度を見込んでいる。



▲高原町立病院

災害は急に起こる!! 十分な備えを



いわもと れいこ 議員
岩元 礼子



(一般質問の様子)

●防災対策等

問 南海トラフ巨大地震の対応は。

答 30年以内に約8割の確率で起きるといわれている南海トラフ巨大地震、高原町の震度予想は震度6弱程度とされており、災害時の被害を最小化する減災、人命最優先の対策を講じることが重要と考える。

問 地域単位における災害の備えは。

答 災害の備え、共助の重要性の啓発も継続して進めていく。

問 各家庭での災害の備えは。

答 災害の備えの啓発を行う。

問 町内の災害ボランティアの実態を把握しているか。

答 943名の方がボランティア登録されている。

問 一般住宅耐震化について。

答 一般住宅耐震化は、高原町建築耐震改修促進計画に基づき住宅の耐

震化を促進するとともに所有者の耐震に対する必要性の意識の向上普及啓発を行う。住宅耐震診断、改修には補助制度がある。

問 職員の喫煙の状況は。

答 行政機関においては、原則敷地内禁煙となっている。勤務時間中は、職務に専念し、みだりに離席することとは禁じられている。

問 イヌマキの害虫キオビエダシヤクの対応が必要だが。

答 町内全域のイヌマキ系の庭木に被害状況が及んでいる。駆除の方法や自分で薬剤散布ができない場合の対応は、役場に問い合わせを。



◀イヌマキの害虫
キオビエダシヤク

公共施設整備を計画的に!



じん けいすけ 議員
陣 圭介



(一般質問の様子)

●新幹線新駅誘致

問 宮崎新八代ルートの検討に関し西諸地域への新駅誘致について考えは。

答 地方創生、地域活性化等に大きく貢献する交通インフラであると認識しており、吉都線沿線市町ほか県とも密に連携し取り組んで参りたい。

●公共施設整備

問 計画的に起債を活用し公共施設を整備していく時期では。

答 総合的な視点で施設整備の在り方を検討協議すべき。建物の用途によって補助金、起債等十分活用した計画をしていく。

●職員体制

問 公費を使い職員を育成しているという考え方に立つと、退職者に退職理由を聞いたたり、引き止める一段階が必要では。

答 対象者は退職にあたり相当な決

心がある。理由を聞けるかどうかということもあり、慰留は難しい。

●地域おこし協力隊

問 依然活動が見えないとの声が強いが。

答 外からお客様が町にいらしてその後町内を回っていたかどうかという任務は果たせている。情報発信だけで押し量るものではなく、波及効果について任期中に形にしていたきたい。

●消防団編成

問 緊急時に備え、OB団員を予備消防団員として任命する提案があるが。

答 活動に非常にご理解をいただいた上での貴重なご意見として承る。今のところは消防団活動には支障はない。

●義務教育

問 教科書の使用に関し、記載された文言の解釈が正しい認識に繋がらない場合があると考えるが。

答 全て正しく教授できているかは断言できないところもあるが、指導書等にあるとおり教授はされていると考える。



未来を見据えた政策を！



ほかもら ひとし
外村 仁 議員



(一般質問の様子)

●学校関連施策

問 旧高原高校跡地の運営協議会の今後の運営は。

答 管理は全て所有事業者で行っている状況となり、協議会は解散する方向で今後協議していく。

問 小中学校統廃合後の学校跡地活用は。

答 地域の意向を丁寧に聞き取り、利活用方法を決定していく。

問 統合後の各学校指定品について、どのように考えているか。

答 統合後に指定品を購入いただくかは決まっていない。

●町内観光

問 観光庁の地域観光新発見事業の募集があるが。

答 奥霧島温泉郷のPRと誘客の事業内容で応募する。

問 観光協会、地域商社、温泉郷組合について、町内観光を主として扱う団体は。

答 それぞれの立場で観光について

事業を行っている、観光の相談については役場の担当課が窓口になる。

●災害対応

問 災害発生時の情報収集等の連絡体制は。

答 人員派遣や関係機関との連携、他機関の無線通信施設等の利用等、あらゆる手段を尽くして情報伝達を行うよう努める。

問 庁舎崩壊が危惧されるが対策は。

答 早急に公共施設等整備基本方針の見直しを図っていく。

●榊(さかき)の生産について

問 町内の榊生産者は。

答 1名。

問 榊生産につながる支援は可能か。

答 3戸以上の生産者で構成する等の要件をクリアすることが必要。しいたけ特用林産物生産基盤強化事業の利用が可能。

問 町の木に榊を追加できないか。

答 初代神武天皇ご生誕の地であるという背景もあり、提案として受け取る。



▲榊「さかき」

さらなる子育て支援を



にしじま はるよ
西嶋 陽代 議員



(一般質問の様子)

●子育て支援

問 不登校児童・生徒の実数は。学年ごとに把握されているか。原因は。

答 2月末現在で、4年生2名、6年生1名、中学1年生2名、2年生1名、3年生2名の計8名。原因としては、心因性のもの、家庭環境に起因するものがある。

問 適応指導教室の利用状況は。

答 「ひむか学級」には4名が在籍、うち2名が通級。出席扱いとなり、不登校とはならない。

問 後川内中学校を「学びの多様化学校」にできないか。

答 「学びの多様化学校」は、近隣市町の動向を見る。設置の申請は検討に値する。

問 学校給食費の無償化は。

答 半額を助成している。物価高騰で、単価が30円上がったが、値上げはしない。

問 障がい者福祉

問 精神障がい者の、精神科以外の

問 精神障がい者の、精神科以外の

医療費助成は。

答 精神障がい者手帳、1・2級は47名。県に対して強く要望する。

問 2027年、第26回全国障害者スポーツ大会で、アーチエリーの会場になっているが、運営ボランティアや手話・通訳ボランティアの募集・育成の計画は。映画「おわりなき聲(こえ)」の上映は。

答 県が運営主体であり、町としては考えていない。聴覚障がい者・手話への理解・普及のきっかけとして検討する。



●有害鳥獣被害防止計画

問 駆除隊の編成・人材育成は。

答 捕獲班は29名。そのうち、くくり罠27名、猟銃免許8名。委託業務者は1名。県の認定マイスターが3名(町職員)。

問 柵の見回り、管理等のサポート、補助員制度の創設は。

答 パトロールは、猟銃免許を持っていないとできない。柵は所有者が直す。

問 役場のハラスメント対策

問 職員の研修会や勉強会は。

答 「高原町職員の心得」を職場に掲示。名札の裏にも掲行している。

問 職員の研修会や勉強会は。

答 「高原町職員の心得」を職場に掲示。名札の裏にも掲行している。

ハード整備が無理ならば、ソフト整備に尽力を



ふくざわ たくじ
福澤 卓志 議員



(一般質問の様子)

●保育行政

問 保育所（3カ所）を統合する考えは。

答 統合問題及び老朽化施設を含め、調査研究を行う。

問 令和6年度の幼児人数は。

答 狭野14名、広原24名、後川内15名。

●公共住宅行政

問 災害が起こった場合、入居者の生命・財産は守られるか。

答 旧耐震基準の団地もある為、現在の2022戸を170戸まで縮小する。

問 現在の入居状況及び単身高齢者の入居数は。

答 2022戸の内154戸に入居、（入居率76・2%）。62人が単身高齢者。

問 高齢者等単身入居者死亡に関する処理要領が定められていないが。

答 公営住宅法や民法などにも関係するため検討する。

●防災行政

問 安全確保のため、通学路や避難経路沿いのブロック塀等、除去が必要だが。

答 令和元年・2年度に危険ブロック塀等除去事業を行ったが、申請希望者がいなかった。

問 再度実施は出来ないか。

答 令和6年度は周知等に努め、以降検討する。

問 個別避難計画策定が進んでいないようだが。

答 大変重要であることは認識している。

問 本町に公衆無線LANサービス（フリーWi-Fi）はあるか。

答 役場1階、ほほえみ館、皇子原公園管理事務所、高原駅待合室。

問 災害の発災時、災害無線LANとして使えるか。

答 学校を含め可能。

問 災害派遣（人的支援）を行う考えは。

答 要請があれば。



▲高原町営住宅

高原町重要課題への取り組み



めくみず よしあき
温水 宜昭 議員



(一般質問の様子)

●高原町財政状況

問 町民へ財政収支の見通しを報告された思惑と財政非常事態宣言等の考慮は。

答 本町の抱える重要な課題である町立病院事業運営の考え方を踏まえ、令和5年6月時点の資料を基に財政収支の見通しを作成し、財政状況の見える化を図り、情報を共有する目的で報告した。又、財政状況は厳しい状況ではあるが現段階で、財政非常事態を宣言することはない。

問 行財政改革推進目標は。

答 ・起債残高の抑制 ・経費削減
・デジタル化の検討
・民間活力の活用
・町税収入の確保やふるさと納税の推進
・財政運営の透明性の確保と町民との情報の共有
・町単独補助金や事務事業の必要性和効果の検証

●高原町学校建設

問 学校建設の財源検証は行ったのか。

答 令和3年時点では、令和7年度完成へ向けて、予算確保の見通しであったが、令和5年3月時点で精査したところ困難な状況であると判断した。

問 学校建設の施設整備概算設計書や国の補助金協議の検討は。

答 令和4年度概算工事が16億3400万円、国の学校施設環境改善交付金の活用を考えていたが基本計画の段階で見送った為、国との協議や実施設計委託等を行わなかった。

問 高原小学校改修へ移行した経緯は。

答 保護者説明会や町政報告会などのご意見をふまえ、既存の高原小学校校舎を活用し、統廃合を進めることにした。



▲高原小学校



アイデアを行動に!



やました かおり
山下 香織 議員



(一般質問の様子)

●定住・移住・関係人口

問 移住希望者へ具体的なアピールは。

答 ありふれてはいるが自然・水・人柄をもっとアピールしていく。具体的には温泉や湧水等の泉質や水質・体験型観光や福祉部門と連携可能な農業環境・森育木育としてのフィールド等子育て関係人口の創出等に適した素材がある。地域商社が進めている事業等も生かし、点から線へ、更に面的な広がりにする。

問 ターゲットは絞られているか。

答 若い世代・子育て世代・1丁等のスキルを持つている方、そして農業に興味のある方に絞っていく。

問 選ばれる・応援してもらえる政策は。

答 特産品の開発・視野を広げた効果的なPR活動・シリ力成分が多く含まれている高原の水で育まれた農

畜産物は健康であるという事をPRの文言にしていきたい。



▲手作り衣装で行う移住説明会

問 ペットと暮らせるというPRは現実的か。

答 可能な物件数を増やしていく。

問 楽しい遊び場の増設は。

答 皇子原公園のスライダー跡地の再利用を検討している。

問 町民に対しての起業の助成の考えは。

答 若い人たちがやりたいことをやるような機運を高めていきたい。

●ペット同行避難

問 本町ではマニュアルはあるか。

答 地域防災計画の中に記載してある。

問 ペット同行避難に迷った時は。

答 役場に連絡して欲しい。



議会の動き (1月9日~3月31日)

- 定例会・・・3月6日~19日(会期14日間)
- 議会運営委員会・・・4回(2/28・3/6・3/11・3/18)
- 全員協議会・・・8回(1/9・2/13・3/1・3/8・3/11・3/18・3/19・3/28)
- 総務経済常任委員会・・・2回(3/15・3/18)
- 文教厚生常任委員会・・・6回(3/8・3/11・3/15・3/18・3/21・3/27)
- 一般会計予算・決算常任委員会・・・7回(3/8・3/11・3/11・3/12・3/13・3/14・3/18)
- 議会だより編集委員会・・・3回(1/15・3/11・3/29)
- 議会の在り方検討委員会・・・4回(1/19・2/13・3/19・3/28)
- 公共施設の在り方検討委員会・・・1回(1/19)

議会を傍聴しませんか?

YouTubeでもご覧いただけます。

6月定例会は

6月5日(水)~

※質問者数により日程が決まります。

本会議は午前10時開会

請願・陳情を出される方は5月28日(火)までにご提出ください。

高原町議会事務局 ☎42-5138



※詳細は町公式ホームページにて



キラリ★たかぼるびと

あなたの夢を
応援します!!

議会だより
たかぼる
No. 87



毎年 庭いっぱいにビオラを咲かせている、湯之元地区の田中清貴さん



狭野保育所の5人の卒園生
おめでとうございます



スイーツフェスタの企画運営をされた志村太一さんとそのご家族
(※マーケティングコンサルタント)

編集後記

桜まぶしい季節となりました。

ご卒業、ご入学、ご進学、ご就職おめでとうございます。それぞれに新しい門出になりましたね。全ての頑張り心から応援します!◇私たち新人議員も、先輩議員の指導を受けながら、一般質問、決算、予算、各委員会、行政視察や所管事務調査等があり、あっという間に1年が過ぎようとしています。2年目はもっと気を引き締めて頑張ります。議会だより編集委員会も4人中3人は新人議員です。皆さんに読んでもらえるように工夫しながら作成しておりますが、いかがでしょうか?◇さて、今年高原町制施行90周年を迎えます。お祝いを含め沢山のイベントが開催されるようです。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。「たかぼる・はるちゃん」も新しく生まれ変わると聞いております。わくわくが止まりませんね♪

岩元礼子

高原町議会 “議会報告会” 開催のお知らせ

改選後初となる議会報告を下記の通り開催いたします。

期 日	時 間	場 所	備 考
4月22日(月)	午後	上後川内地区多目的活動施設	どの会場でも参加できます。 ご都合の良い日時や場所にお越しください
4月23日(火)	7時30分	上広原地区多目的活動施設	
4月24日(水)	～	北狭野神武ふるさと館	
4月25日(木)	午後	出口農業構造改善センター	
4月26日(金)	9時00分	並木公民館	

皆様のご来場をお待ちしております!



発行日/令和6年4月15日 ■発行/高原町議会 ■編集/議会だより編集委員会
0984-4215138 0984-4215138 自岐県西諸県郡高原町大字西麓899番地 会(0984)4215138